

支部ニュース紹介 ③

たんぼぼ支部

支部ニュース紹介第3回目は、寝屋川市西部の黒原旭町、高柳な

どを地盤とする、たんぼぼ支部をとりあげます。毎号、季節のイラストをあしらいついて、読みやすいつニュースをつくられています。

「行動記録」表

けいはん医療生協

例	月日	時間	訪問先	内容
	12月2日	午後2〜4時	スーパーワ〇	買い物で〇〇さんと立ち話
1				
2				
3				
4				
5				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

※ 保管は2週間分するよう。

▲支部ニュース裏面

ホームさつき 大阪日日新聞が取材

感染者、すぐ入院できず 病床逼迫で入所継続に

府内高齢者施設 拡大リスク隣り合わせ

大阪日日新聞「2月16日付」

ホームさつきで3人感染 入院できず入所継続に

高齢者施設の入所者が新型コロナウイルスに感染したが、すぐに病院に入院できなかつた事例として、「ホームさつき」が大阪日日新聞に取材をうけました（2月16日付）。以下、記事の一部を抜粋いたします。

12月12日、「ホームさつき」で入居者3人が新型コロナウイルスに感染していることが判明。保健所に直ちに入院できるように求めたが、「重症度が高い人が優先になる」と説明され、入院できず。

感染した2人の居室があった4階では、ほかの入所者もきめて全

て居室内の食事に切り替え、食器は使い捨てに変更。介助する職員との距離が近づいたため入浴も控えてもらい、体を拭いて対応した。濃厚接触者に認定された職員は、2週間の自宅待機となり、スタッフが不足。運営法人に応援を依頼し、他施設の介護職員と看護師を派遣してもらい、何とか持ちこたえた。

施設責任者は「持病のある高齢者が集団生活していることで、重症や軽症に関係なく、すぐに入院させてほしい」と訴えた。それがクラスターを発生させないことにもつながる」と語っています。

けいはん医療生協 たんぼぼ支部ニュース 2021年2月号

発行者：松尾 満子 828-7356

コロナの第3波の流行で、緊急事態宣言が出ている中ですが、組合員みなさんいかがおすごしですか。寝屋川市においては、1100人を超える方がコロナにかかりました。気をつけていても、誰がかかってもおかしくない状態になっています。引き続き、くれぐれも3密を避け、丁寧に手洗いうがいを続けましょう。

いつ、どこで、誰と会ったかなど、日々の行動を記録に残しておくことも大切です。また、運動不足にならないように、自分に合った運動をして足腰が弱らないようにしましょう。

あと2カ月で年度末！

1年間の活動の報告と新年度の取り組み、会計報告を行う支部総会を4月3日（土）に行う予定です。昨年度の支部総会は、コロナが流行していたので、書面議決となりました。今回も一同に会することは大変困難かと思われます。前もって議案書をお届けしますので、支部の活動に関心のある方は、ぜひご連絡ください。

健康チャレンジに 参加した方の感想

- ◎毎年参加しているので、朝晩歯磨きが習慣ついた。
- ◎今年はコロナで、室内でできる運動をしてきた。（踏み台昇降、スクワット、ストレッチなど）
- ◎淀川の堤防までウォーキング、気持ちよかった。
- ◎買い物や職場の往復で8000歩ぐらい歩いている。
- ◎脳トレして、数独・クロスワード・間違い探しをしたり、日記を書いたりしました。いい機会になりました。

などなど、感想がありました。ご参加ありがとうございました。☆報告のがきを出された方には、順次参加賞やグループ賞をお届けします

健康診はお済みですか？

まだの方は、お急ぎください。必ず予約の電話をしてください。

★日曜健診の日程

みい診療所 2月21日、3月14日 ☎ 835-0600

みどり診療所 2月14日、3月14日 ☎ 882-1118

しゃべり場について

コロナ大流行のため、支部の取り組みをDVDにまとめました。ご覧になりたい方は、ぜひご連絡ください。

連絡先： 松尾満子(828-7356) 酒井由美子(090-2104-9742)

診察室よもやま話 ③1

ワクチンと 変異株のレース

まい診療所 所長 高尾 文介

生物は環境の変化に適応するため、遺伝子を変異させ多様性のある子孫を残し、自然淘汰に備えます。昔多くの人間は塩分の少ない土地で暮らし、環境に適応するために、遺伝子に変異を起こして体により多くの塩分を保持しようとした結果、塩分を多く取る現代の人間は持っている遺伝子の種類によって高血圧の程度が違っています。

ウイルスは遺伝子の変異が早いですが、殆どの変異は生存に利益がないためすぐ消えます。まれに感染力が増していく変異株が出ると、親方ウイルスに取って代わって感染の主流になります。新型コロナウイルスは約3

一方、ワクチンの開発も人類史上にないほど急ピッチに進んでいて、アメリカ・イギリスが開発したRNAワクチンは斬新的です。ワクチンに含まれた新型コロナウイルスの遺伝子断片RNAを筋肉に注射し、筋肉細胞に取り込まれると、RNAの誘導で細胞内にウイルスのたんぱく質の一部（Sたんぱく）を合成し、このSたんぱくが筋肉細胞の表面に表示され、人体がウイルスに感染されたのと同じような状態にして免疫反応を引き起こします。このワクチンの最大の利点は短時間で大量生産できることと、ウイルスの変異があれば、短時間で作り直すことができることです。ワクチンの有効率は70〜95%ですが、接種後感染されても無症状の感染者になる可能性がありま



ウイルスは休まずどんどんと変異していき、感染力が強いかつ既存のワクチンに効かない新変異株が出る前に全人類の7〜8割以上に予防接種を完成しないと再び大流行になる恐れがあります。現在、我々はまさにウイルスとレースをしているような状態ではありませんが、ウイルスには人間のような思考力がないのでこのレースに負けることはないと信じます。

理事のつばき

私は料理が好きです。食へることも、作ることも。

20年ほど前から、料理研究家の土井善晴さんが主宰する「おかずのクッキング」という隔月刊の雑誌を購入するようにになり、見よう見まねで始めました。しかし、最初はいつも失敗の連続。野菜の切り方がわからなかったり、塩と砂糖を間違えたり、調味料を入れる順番を間違えたり、段取りが悪く時間ばかりかかり、キッチンばかりかきまわすので、魚をさばくことなど、とんでもないことばかりで、たまにじょうずにできたときは、妻や子どもから「美味しい」「言葉をもらうと、「おつぱー」と料理を食べて美味しいと言ってもらったこと、喜びを感じて

料理はひとつの作品をつくるようなもの



とひそかに自負しています。私が勝手に料理の師匠と思う、その土井善晴さんと政治学者の中島岳志さんの異色の対談「料理と利他」という本が、話題となっています。コロナ禍のもとで、改めて家庭料理の大切さ、これまでの社会のあり方でのかを、食、料理を通じて語っておられます。自然の中で育てられた肉や野菜、海産物は、豊かな自然がなければ手にすることができません。旬の野菜が季節の到来を知らせてくれ、心を和ませてくれます。料理はものづくり、ひとつの作品づくりかなと感じます。考えてみれば、けいはん医療生協が提供するサービス、組合員とともにつくる「あいちゃん」、支部活動でも、食事の提供、料理を通じて「コミュニケーション」と同様に、身近で大きなつながりづくり、地域のみんなで地域のみんなを支え合う地域づくりの大切なきっかけになっていきます。もっともっと大切にしたいです。

理事 吉松 正憲

伝言板

■法律相談（要予約）

4月23日（金）14時

一人20分程度の時間で

す。お気軽にご相談下さい。

問い合わせは地域サポートセンターへ

072(882)5025

組合員現勢

2021年3月1日現在

世帯数 8,812世帯

組合員数 12,592名

出資金 4億67,600千円

急募 看護・介護スタッフ

常勤・パート・登録や短時間勤務など、多様な働き方の相談にのります

待遇 賞与年2回・昇給年1回・社会保険完備

勤務時間 貴方が働ける時間で対応します

資格 看護師・ケアマネジャー・介護福祉士 初任者研修課程・ヘルパー2級

資格をお持ちでない方（未経験）も大歓迎！ 介護職員初任者研修課程講座を開講していますので、働きながら資格が取れます。

普通免許所持者歓迎 経験者優遇！ 常勤職員パート職員 福利厚生充実 充実した研修制度

事前の施設・事業所見学できます。まずはお気軽に電話下さい。

☎ 072-882-5095

けいはん医療生活協同組合 住所：門真市上島町38番8号 担当：松田・山田